



新しいエコのカたち、はじまる。



環境省

エコジーン

VOLUME.71



Our Life
&
MORI SATO
KAWA UMI

特集

わたしたちと 森里川海

[エコジーン・インタビュー] 富永美樹 / [第2特集] 熱中症対策

[特別インタビュー] 原田義昭 環境大臣



SPECIAL INTERVIEW

原田義昭環境大臣 特別インタビュー

| YOSHIAKI HARADA | Minister of the Environment

今月、長野県軽井沢町で開催する「G20環境・エネルギー関係閣僚会合」で共同議長をつとめる原田環境大臣に、会合に向けた意気込みなどを伺いました。

(2019.5.28時点)

5月にフランス・メッドで開催されたG7環境大臣会合に参加していかがでしたか

G7環境大臣会合では、生物多様性の保全を中心として幅広い地球環境問題が議論され、その内容をまとめたコミュニケや、生物多様性に対するG7などの今後の取り組みをまとめた「生物多様性憲章」などが採択されました。

G7各国は、我が国が議長国として2010年に取りまとめた生物多様性に関する愛知目標



G7環境大臣会合の参加閣僚ら

(2020年为目标年)の達成、そしてさらにその先の目標に向け、この憲章に沿って野心的かつ現実的な取り組みを進めることが重要です。

「生物多様性」という言葉は一般的にはまだなじみがないと思われます

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。生きものも人も、自然のさまざまな恩恵を受けながら直接、間接に支え合って生きています。それだけでなく、私たちの暮らしは、豊かな水、きれいな空気、食料や資材、自然の上に成り立つ特色ある文化など、森・里・川・海やその連環が作り上げる豊かな自然の恵みによって支えられています。エコジンの今回のテーマですね。

さらに、そうした自然的なつながりだけでなく、人や資金などの経済的なつながりを含めて、地域がその特性を活かし、自立・分散型の活力ある社会を形成していこうというのが、環境省が打ち出し

ている「地域循環共生圏」という考え方です。このことは、6月15・16日に長野県軽井沢町で開催する「G20環境・エネルギー関係閣僚会合」でも、我が国の取り組みとして発信したいと考えています。



G20環境・エネルギー関係閣僚会合では、他にどのようなことを議論しますか

世界的な課題である気候変動や海洋プラスチックごみ問題などについて議論します。

気候変動については、我が国として、G20までにパリ協定に基づく長期戦略を策定します。世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑える努力を追求するため、今世紀後半のできるだけ早期に「脱炭素社会」、すなわち実質排出ゼロの実現を目指すことで、気候変動問題の解決に向けたイノベーションに関する議論を牽引したいと思います。

特に、利用時にCO₂を排出しない究極の“環境型エネルギー”である水素については、議論するだけでなく、最新の技術を集めた展示も披露したいと思っています。

海洋プラスチックごみ問題に関しては、G20ま

で、我が国の「プラスチック資源循環戦略」を策定し、就任直後に打ち出したレジ袋の有料化に向けた取り組みを含めて、国内での積極的な施策を講じます。

そしてこの問題は、先進国だけでは解決できません。G20の場では、我が国の優れた取り組みや技術を諸外国にアピールし、新興国・途上国を巻き込んだ海洋プラスチックごみ対策の実効性ある枠組みを構築したいと思っています。

プラスチックそれ自体は大変有用な素材です。ただ、ポイ捨てをなくし、不必要なワンウェイのプラスチックなどを極力減らしていく、そうした“プラスチックとの賢い付き合い方”が必要です。環境省は、昨年「プラスチック・スマート」キャンペーンを立ち上げました。さまざまな創意工夫で、行政はもちろん、企業や国民一人ひとりに、それぞれの立場でできることに取り組んでいただき、運動の輪を広げていきたいと思います。



「プラスチック・スマート」キャンペーンのロゴマーク

最後に一言お願いします

令和の時代となりました。四季折々の美しい自然を次の時代へと引き継いでいく、万葉集に詠まれた梅の花のように一人ひとりの花を大きく咲かせるとの願いも込められているとされています。決意を新たに環境行政の先頭に立つつもりです。

エコジン

2019年6-7月号

デザイン/ナオイデザイン室 Cover写真/大久保恵造



宮城県南三陸町の豊かな自然を楽しむ「つなげよう、支えよう森里川海アンバサダー」のアヒル隊長。



エコジンとは、“エコロジー+人”、“エコロジー+マガジン”のこと。環境のことを考える人が一人でも多くなることを目指す、環境省発信のエコ・マガジンです。

contents

08



特集

わたしたちと森里川海

Our Life & MORI SATO KAWA UMI

02

特別インタビュー 原田義昭 環境大臣

05



エコジン・インタビュー

富永美樹

「人間も自然の一部」と思ったら心が解放されました。

22



課題解決ストーリー エコ・サクセス Vol.07
八寿恵荘

24



エコ、作ってみた! Vol.01
古布を使って折りたたみ椅子を作る

18



エコの鍵

熱中症対策

26



ECO KNOWLEDGE Vol.07
グリーン購入法って?

事業者の皆様! 準備はお済みですか? 本年(2019年)10月1日から消費税の**軽減税率制度**が実施されます。

仕入税額控除の方式が変わります!

標準税率 **10%** と、**・** 飲食料品(酒類・外食を除く)
・ 新聞(定期購読契約された週2回以上発行されるもの) に係る軽減税率 **8%** について

帳簿・請求書・レシート等の記載を
複数税率に対応させる必要があります。

CHECK 全ての事業者の方に関係があります!
飲食料品等の販売がない場合も、例えば、飲食料品等の仕入がある場合は、帳簿上、軽減税率対象である旨を明記する必要があります。



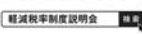
レジや受発注・請求書管理システムの
導入・改修が必要となる場合があります。

CHECK 軽減税率対策補助金が拡充されました!
中小企業・小規模事業者等の方向けに複数税率対応レジの導入等を支援します。
ぜひご活用ください。

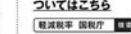


軽減税率制度説明会にぜひご参加ください。

全国で開催されています。日程・場所等の情報は右記よりご確認ください。



軽減税率制度についてはこちら



軽減税率対策補助金についてはこちら



財務省 www.mof.go.jp

※本誌の掲載文のうち、執筆者の意見にあたる部分については、環境省の見解と異なることがあります



「人間も自然の一部」と思ったら
心が解き放たれました。



富永 美樹

フリーアナウンサーとして、東京を中心にさまざまな活動をしながら山梨県の富士山麓にセカンドハウスを持ち、1年の1/3をそこで過ごしているという富永美樹さん。さらに2015年からはテレビ番組をきっかけに静岡県の戸田にも家を持ち、3拠点での生活を送っています。自然に囲まれた生活が富永さんにもたらした効果とは!?

趣味はキャンプ、トレッキング、サイクリング…と、さまざまなアウトドアのジャンルが並ぶ富永さん。そのきっかけはミュージシャンである夫のまことさんにあったそうです。

「結婚して3年が経った頃、夫がキャンプに行きたいと言い出しまして。私はあまり乗り気ではなかったのですが、彼がそう言うなら一度はつきあおうと思って出かけてみたら、あまりの解放感と心地良さにすっかりハマってしまいました」

森林に囲まれた山梨県にある第二のわが家で感じるのは、自然への畏怖と人間も地球を構成する生き物の一部にすぎないのだという思い。

「嵐が来ると、風と木の揺れる音が本当にすさまじく、恐怖すら感じます。人の手で嵐をくい止めることなんてできませんから、ただ通り過ぎるのを待つだけ。自然の持つ大きな力の前には、人の無力さを感じずに

ます。そして一步を踏み出せば、自分が予想もしなかったような新しい世界が目の前に広がるがあると、自分の経験を踏まえておススメしたいと思います」

自然の力強さを感じる一方で、人の暮らしが自然を脅かすことにも敏感になったという富永さん。

「戸田の漁師さんたちから、魚が獲れる時期や獲れる量が変わったという話をよく聞きます。地球温暖化の影響なのだと思いますが、私たち一人ひとりに何ができるのかと思った時に、私は主婦でもあるので、できるだけ家から出るゴミを少なくしようと思いました。日本の生活ゴミの排出量が世界で上位だと知った時は、本当に驚きました。ゴミ問題から目をそらしてはいけないと、今、いかにゴミを減らすかをテーマに生活しています。例えばスーパーに行ったらトレーに入っていない食材を選んだり、ペットボトルの飲料水は買わないようにしたり、過剰包装を断ったり。消費者が変われ



ゴミ問題は喫緊の課題。売る・買う双方の意識

はいられません。これは都会だけで生活していた時にはわからなかった感覚。自然の中にいると人間も実は他の生き物たちと同様、地球に暮らす一員でしかないと感じるようになりました」

結局、人も自然の一部なんだという思いは東京での生活も楽にしてくれたと言います。仕事で嫌なことがあっても「しょうがないか」とすぐに気持ちを切り替えることができるようになり、自分がたくましく、強くなったと感じるそうです。

「以前は悩むこともあった人間関係も、森で生物多様性に触れてから相手の立場で物事を考えられるようになって、結果受け流せたり。だから“生きづらいな”と感じる人には、公園に出かけてみるとか、ちょっとしたことでいいので自然に触れてみてほしいなと思い

ば売る側の意識も変わって、もっとゴミを減らしていけるのではないかと考えています」

ゴミに対する海外の人との意識の違いは、キャンプに訪れたアメリカやカナダでも感じたのだそう。「アメリカの国立公園をキャンプをしながら巡ったのですが、公園内には『砂糖の一粒たりとも残していきな』と書かれていました。人のちょっとした痕跡で自然環境が崩れてしまうことを彼らはよく知っているのだと思います。それに入場料もしっかりと取って、公園の整備やレンジャーにかかる費用に使っている。これは日本でももっと取り入れていいのではないのでしょうか。そして同時に、まだ既成概念にとらわれていない子どもたち

に対してもっと自然と触れあえる教育をして、自然とどのように向き合えばいいのかを考えてもらえたらいいですね。そうすれば、未来に豊かな自然が残っていくのだと思います」

富永美樹 フジテレビのアナウンサーとして活躍。シャ乱Qのドラマー・まことさんとの結婚を機に退社し、フリーアナウンサーに。2014年に富士山麓に家を建て、夫婦で半移住生活を開始。翌年にはテレビ番組がきっかけとなり静岡県の戸田でも暮らす3拠点生活に突入。現在は森里川海アンバサダーも務める。

🎁 PRESENT!

富永美樹さんのサイン入り写真を、エコジン・アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で1名にプレゼントします。



を変えなければ



特集

わたしたちと森里川海

Our Life & MORI SATO KAWA UMI



わたしたちは、「森」「里」「川」「海」に象徴される、あらゆる自然の恵みに支えられて生きています。

森・里・川・海はすべてつながっていて、お互いに支え合っているのです。

人間もそのつながりの中に含まれていますが、昔に比べて自然との関わりは少なくなり、

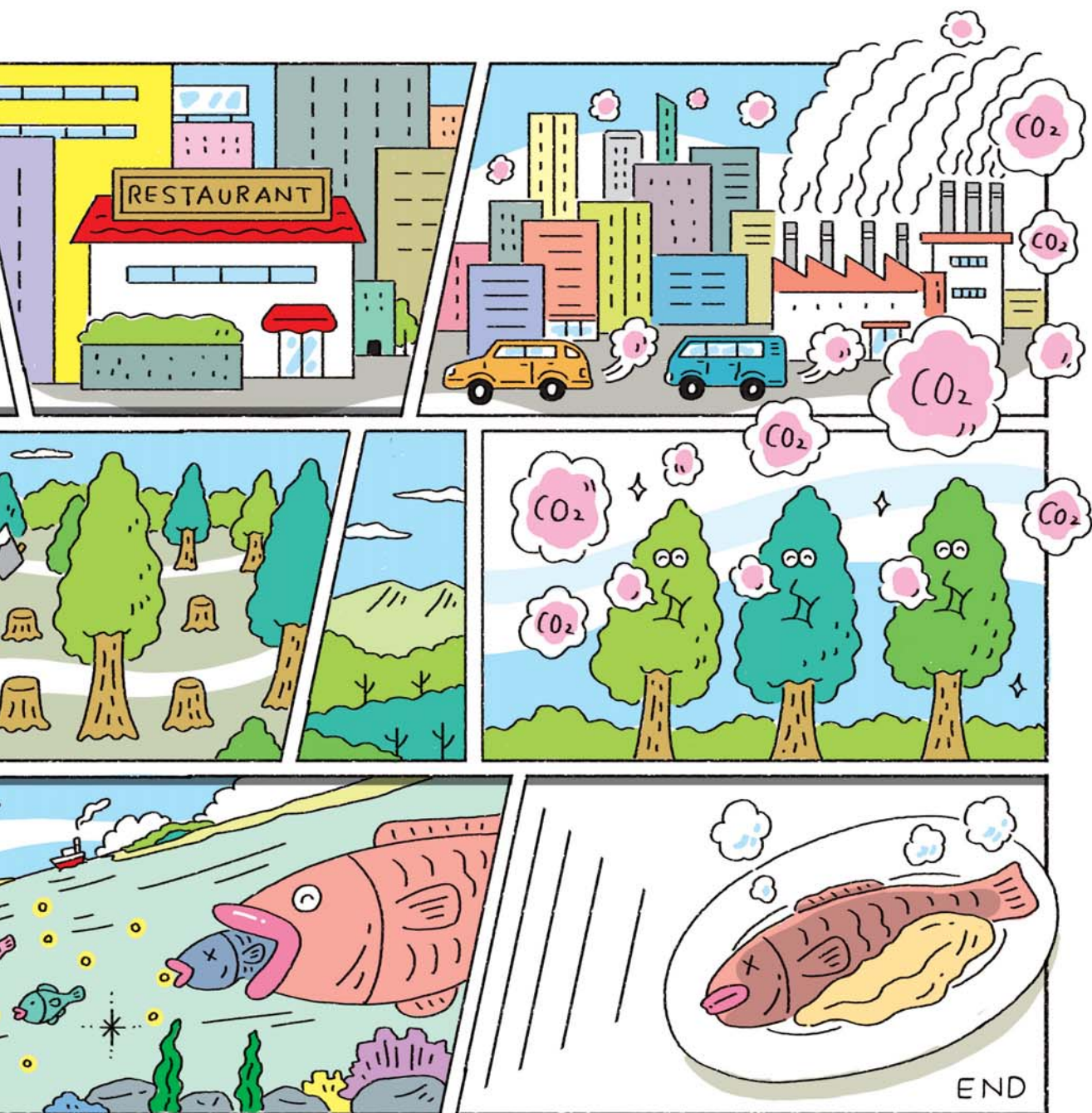
その恵みの大切さをいつの間にか忘れてしまっているのではないのでしょうか。

環境省では、この“つながり”を取り戻すための取り組みを進めています。

いつも食べている魚料理の一皿も実は森里川海の恵みがめぐりめぐって

私たちの食卓につながっていることを実感してみてください。

イラスト/ナカオテッペイ (P8-11) 写真/大久保恵造 (P12-13)



森里川海のつながりから 広がる豊かな暮らし

森・里・川・海のつながりを豊かに保ち、人と自然が支えあっていくために何ができるでしょうか。それをともに考え取り組んでいくのが「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトです。

森里川海の恵みを活かした未来を描く

私たちの暮らしは、自然の恵みに支えられています。それは森・里・川・海のつながりがあるからこそ。豊かな水を育む「森」、その水を活かして営まれる「里」での暮らし、田畑に水を運び、栄養分を含んだ「川」は海へ注ぎ豊かな「海」となります。こうしたつながりが私たちにもたらしてくれるのは、澄んだ水や空気、安全でおいしい農作物、山の幸・海の幸といった旬の食べ物、心身を癒やしてくれる美しい風景にまで及びます。ところが「森里川海」とそのつながりが、過度の開発や管理不足、人口減少、高齢化の進行などにより、大きな危機に直

面しています。今こそ、一人ひとりが「森里川海」の恵みを実感し、その恵みを社会全体で支えていくという思いを広げていくことが求められています。

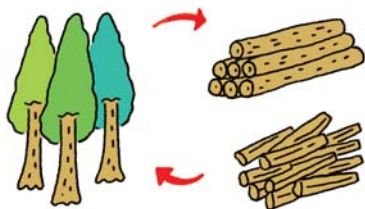
このプロジェクトでは、森里川海が本来持つ力を再生し、その恵みを活用することで環境と経済、社会が循環していく持続可能な循環共生型社会の実現を目指しています。環境保全の仕組みづくりや森里川海のとつながりを意識した暮らしを進め、森里川海が豊かに機能し、人と自然、地方と都市が共生する社会へ向けて、新たな未来を描いていきましょう。



森里川海の力がもたらしてくれるもの

01.

優れたエネルギー源



木は優れたエネルギー源です。間引いた木や木くずを燃料にすれば、地域でエネルギーを自給できます。地域に仕事が生まれ、外から買う燃料を減らせるばかりでなく、余ったエネルギー源を販売し収入を増やすこともできます。

02.

人が集まる元気な地域



美しい森里川海は、観光や環境教育の場として大きな魅力と可能性を持っています。「美しい風景」や「ふるさとの暮らし」にひかれ観光客や移住する人が増えると、人とモノ、経済の交流が生まれ、地域が元気になります。

03.

安心・安全な衣食住



化学肥料や農業に頼らない有機農法による農作物、昔ながらの製法で作られた食品、オーガニックコットンで作られた服、心が安らぐ木の住まいや木工家具など、身体にも環境にも優しい製品が注目されています。これらは安心・安全な食と暮らしを提供してくれます。

04.

誇れる名産品



日本には、森里川海の恵みを活かした農林水産物がたくさんあります。地域ならではの魅力あふれる特産品は地域経済を元気にし、そこで暮らす人に誇りをもたらします。また伝統文化の継承にもつながります。

05.

災害に強い地域づくり



気候変動による自然災害が発生しています。森林が土砂崩れを防ぐ、サンゴ礁や砂浜が高潮被害をやわらげる、湿原が一時的に洪水を受け止めるなど、健全な森里川海のつながりは、災害に強い地域をつくります。

「地域循環共生圏」と森里川海

森里川海はつながっているもので、それを健全に保つことは一地域でできるものではありません。豊かな自然を守るための方法とそれを支える仕組みを「地域循環共生圏」として広域的に取り組み、日本の豊かな生物多様性とその恵みを次世代に継承していきます。

環境省では、このプロジェクトへの賛同と活動報告を随時募集しています。



つなげよう、支えよう
森里川海プロジェクト
<https://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/>

わたしたちの/
ACTION!

1

宮城県
南三陸町
MINAMISANRIKU

持続可能な地域循環 を目指し海と森の恵みを 未来につなげる

豊かな森と海の恵みが人々の暮らしを支える宮城県南三陸町。
震災を機に、森里川海のつながりを強めるプロジェクトが始まりました。



志 津川湾に面した戸倉地区では、1960年代からカキ漁が盛んになった。しかし、過剰な養殖によっていつしか海の豊かさが損なわれ、カキの品質の低下が問題視され始める。さらに、2011年の東日本大震災が海の環境を一変させた。戸倉カキ部会部会長の後藤清広さんは、その時の様子をこう語る。「カキ漁のいかだも船もすべて流され、カキの養分となる微生物の減少も懸念さ

れましたが、これを機に海と人との付き合い方を考え直すべきだと発想を切り替えました。経済性優先ではなく、持続可能な生産と自然環境の管理に取り組むべきではないか、と」。

震災をきっかけに、地域の漁業者たちはカキ漁のいかだの数を減らす決断をした。カキに海の栄養が存分に行き渡るよう工夫した結果、それまで生育に数年かかっていたところを1年でぶっくりとした身



「海さ、ございん」プロジェクト

UMISA GOZAIN PROJECT



国内で初めて養殖水産の国際認証ASCを取得した戸倉養殖場で生まれた「南三陸戸倉っこかき」を中心に、森里川海の循環のストーリーを海から発信する。「山さ、ございん」プロジェクト実行委員会とも連携しながら、南三陸の地域ブランドの確立を進めている。プロジェクト実行委員会は2016年に設立。



.....
ASC認証マークのついた生食用カキ



「山さ、ございん」プロジェクト

YAMASA GOZAIN PROJECT



国際森林認証FSC取得の地域ブランド「南三陸杉」を活用し、付加価値の高い家具などを提案しながら林業の活性化を図る。森里川海のつながりを森から発信し、南三陸の森の魅力を

全国に広めるストーリーづくりのプラットフォームの役割を果たす。プロジェクト実行委員会は2015年に設立。



.....
外壁と内装材に南三陸杉を使用した新築戸建

写真/川廷昌弘(上・下)

のカキが育つようになり、味も向上したという。こうした取り組みが評価され、国内初となる養殖水産の国際認証ASCを取得した。戸倉のカキは、「南三陸戸倉っこかき」として付加価値を持ったブランドに成長しつつある。

一方、林業でも、地域で伐採されるスギをブランド化した「南三陸杉」の価値を高めようと、震災を機に国際森林認証FSCを取得。さらに、それまで各々で活動してきた水産業と林業が協力しながら地域活性化を図るため、森里川海のつながりを意識した「海さ、ございん」「山さ、ございん」プロジェクトも立ち上げた。「ございん」とは、地元の方言で「いらっしゃい」という意味である。「豊かな海には、豊かな森の地下水のミネラルも影響するといわれます。森と海、そして我々の暮らしはすべて自然の循環の中で

成り立っているのです。これまで以上に漁業と林業のつながりを強くしながら、未来に向けて持続可能な地域産業のあり方をお互いに模索していけたら」と後藤さん。地域ならではの海と森の恵みのファンを増やし、全国、さらには世界から人が訪れるきっかけにしたい考えだ。

OUR VISION!

南三陸杉で火をおこしてカキの燻製をつくるなど、漁業と林業の連携を図りながらこの地域ならではの付加価値のある製品をつくりたい。



宮城県漁業協同組合志津川支所
戸倉カキ部会部会長

後藤 清広さん
KIYOHIRO GOTO

木 材の色、木目、材質などの違いを組み合わせ、市松や麻の葉などの美しい模様を描き出す寄木細工。この伝統工芸品の「木」を「気」に置き換えて冠したのが、神奈川県小田原市が進める「小田原森里川海インキュベーション事業“寄気”」である。「気」とは人の気持ち、やる気、意気込み、元気などに通じる言葉だが、それを市内だけでなく市外に求め、協働で新しいプロジェクトを立ち上げ進めてきたのがこの事業の特

徴である。事業の発端について、「ひとつは外から小田原を見てもらい、地域内にいたのでは気づかない新しい価値や資源を掘り起こし、問題解決の糸口を見いだしたかった。もうひとつは若い人の力で何か仕掛けてほしかったんです」と、小田原市環境政策課の杉田智史さんは語る。結果として県内外6つの大学と協定を結び、大学生および研究室とタッグを組み、地域の課題解決に向けた活動を行ってきた。



地域や世代を超えた つながりで 地域の課題を解決

大学との連携の中で、地域課題に取り組んでいる神奈川県小田原市。大学生という若い世代の発想や思考を取り込んだ活動を進めています。



その中で慶應義塾大学総合政策学部、環境情報学部の学生が所属する一ノ瀬友博研究室と石橋地区において実施したのが「わなオーナー制度」だ。「わな」とは狩猟のために仕掛ける箱わなやくりわなのこと。費用を払ってオーナーになると、狩猟免許を持つ学生の案内によるわなの仕掛けや見回り、獣の解体などの狩猟体験ができる。獣害の背景には自然環境の変化、耕作放棄地の増加、わな設置の費用負担、高齢化などの問題があるが、今回のオーナー募集の呼び掛けに市内外から31名の登録があり、農家がわな設置の費用と手間を負担することなく害獣5頭を捕獲した。

モデルとなった石橋地区は、みかん畑の先に青い海が広がる風光明媚な地域である。参加者からは「狩猟に必要な知識を得られた」「子どもたち

に教育の一環として体験させたい]などの声が寄せられた。「この地に足を運んでもらうことで環境問題を肌で感じてもらい、地域や世代を超えたつながりの中で課題解決を進めることができました」と杉田さん。今後は地域が主体となってこの制度を運営できるよう検討していく。

OUR VISION!

都心からのアクセスも良く、森里川海のすべてがコンパクトにまとまった立地を活かして、市外の大学や企業などと連携し、都心のニーズも捉えながら課題を解決していきたい。



小田原市環境部環境政策課

杉田 智史さん
SATOSHI SUGITA

\ CLOSE UP! /



慶應義塾大学

KEIO UNIVERSITY

地域ぐるみの獣害対策
「わなオーナー制度」モデルの
提案と検証



近年農林部で深刻化している獣害について、1カ月4,000円で「わなオーナー」を募り人的・経済的交流を生み出し、持続的かつ地域ぐるみで獣害対策を行おうというものである。地域内外の交流を通して地域の魅力発信、自然資源の価値化などにもつなげていく。



狩猟免許を持つ学生からわなの説明を受けるオーナーの方々



文教大学

BUNKYO UNIVERSITY

おだわら森里川海
エコツーリズム展開に
向けた可能性調査



小田原市の自然資源と人的資源を活用したエコツアーを企画し、交流を通して経済が循環する小田原流エコツーリズムの展開を目指す。モニターツアーとして「小田原のホンモノに触れホンモノを愛するツアー〜小田原の「木」と「職人技」の魅力に迫る」を実施した。



辻村山林農園代表の辻村百樹氏らによる案内

わたしたちの
ACTION!

3

東京都 荒川区
×
埼玉県 秩父市
ARAKAWA ×
CHICHIBU

都市と地方、 人と自然のつながりを伝える 絵本プロジェクト

荒川の上流に位置する埼玉県秩父市と下流に位置する東京都荒川区。ここから、森里川海とともに豊かに暮らす人々の記憶が詰まった絵本が生まれました。

森 里川海をつなぐりを再認識すべく、地域のさまざまな世代の人々から話を聞きながら、そこに培われた暮らしの知恵や文化を振り返り、一冊の絵本にまとめ上げる。「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトの一環として「ふるさと絵本プロジェクト」がスタートしたのは2016年のことだった。第一弾として制作されたのが、関東平野を流れる全長173kmの荒川流域を題材にした『ありがとう あらかわ』。荒川の豊かな流れが人々にどのような恵みをもたらしてきたのか、流域に位置する東京都荒川区と埼玉県秩父市がそれぞれ地域の記憶を呼び起こしながら制作を進めた。江戸時代から、

秩父で伐採された材木が荒川をいかだで渡り、今の荒川区に点在した材木問屋から江戸の町に運ばれるなど、荒川区と秩父市は荒川の流れてつながってきた歴史がある。

荒川区では、区の生涯学習課が主宰する「荒川コミュニティカレッジ」の卒業生らが中心となり、区内を5つの地区に分けて懇話会や聞き書きを繰り返した。「下町らしい暮らしの情景や、都市の中で荒川の自然とどう付き合ってきたのかを老若男女から聞き取りながら、『五感体験アンケート集』を作っていきまし





秩父市と荒川区を結ぶ全長173kmの荒川



↓『ありがとう あらかわー秩父市ー』より

秩父夜祭
「ドンドコドンドコビービビ、轟轟にひびくみたい。ホーレイホーレイと叫んで、大きな山車をおまわす。秩父夜祭日本。」
その最も古い夜祭は、秩父地方の郡守、秩父神社の神主、夜祭をもたらし武甲の守護者、山に稲穂の女神のこめ、稲と稲刈りに向かう、いちばん最後は稲刈り、二つに稲を引上げて、夜祭の夜祭を引きます。夜祭に足火も打ち上げ、火祭りも行われます。
秩父夜祭あるときは、秩父じゅうから入る。前こえにえ入る。夜祭や夜祭ないときは、みんな歩いてやりました。夜祭に足火を打ち、稲を引くつよふふふふと、夜祭の夜祭をやりました。夜祭の夜祭は、秩父の子の夜祭。夜祭につよふふふ。

た。地域の人々が五感で体験したさまざまな記憶を共有しながら、私たちのふるさと・荒川がどんな場所だったのか再確認していく。忘れかけていた記憶がよみがえり、町の姿が再構築されていきました」と制作委員会メンバーの小寺千三郎さんは語る。

2019年3月に完成した絵本には、過去・現在・未来の荒川流域の暮らしが生き生きと描き込まれている。「制作過程でも活発な世代間交流がなされましたが、出来上がった絵本を活用して、さらにさまざまな世代が語り合える場をつくっていきたいと考えています。単に図書館などで読まれるだけでなく、この絵本に関わった多くの人たちが語り部となって読み聞かせをしながら、生きた絵本として地域の記憶を口伝で次の世代に受け継いでいきたいですね」(小寺さん)

同時期に絵本を制作した秩父市との流域間での交流も進めながら、都市と地方のつながりをいっそう深めていきたいという。

秩父市版制作：秩父神社宮司
藺田 稔さん | MINORU SONODA

秩父市版の制作は、「秩父まるごと博物館」や「鎮守の森コミュニティ推進協議会」のメンバーが中心となって進められました。荒川や地域の象徴・武甲山などの豊かな自然と人々がどのように付き合い、その恵みを受けてきたのか。市民たちが存分に語り合いながら地域の記憶を呼び起こしていきました。この絵本を通して、自然の循環の中で生きてきた人々のつながりを若い世代に、そして都市の人たちにも感じてもらえればと思います。



絵本の完成まで、制作委員会を中心にさまざまな調査を実施

(上)昔からの住人から話を聞く「聞き書き会」
(下)懇話会で上がった話題を確認する「街歩き調査会」



OUR VISION!

絵本をもとに世代間、流域間の交流を深めながら、森里川海のつながりを一人ひとりが意識できる仕掛けを提案したい。



荒川区版制作：荒川区ふるさと絵本制作委員会 | **小寺 千三郎さん** SENZABURO KODERA

『《森里川海ふるさと絵本》ありがとう あらかわ』は、こちらからダウンロードできます
<http://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/kyouseiken.html>



エコをヒモ解く

KEY

ポイント!

エコの鍵

KEY POINTS FOR ECOLOGY

今回の KEY WORD

熱中症対策

どんな時も熱中症から身を守るためのヒント

近年、熱中症で救急搬送される人の数は増え、2018年は9万人以上に達しました。夏季の気温は年々厳しさを増し、発症しやすくなっているといえます。風水害も多発し、避難所で発症するケースもあります。本格的な夏を迎える前に、正しい知識と対策を学んで、熱中症から身を守りましょう。



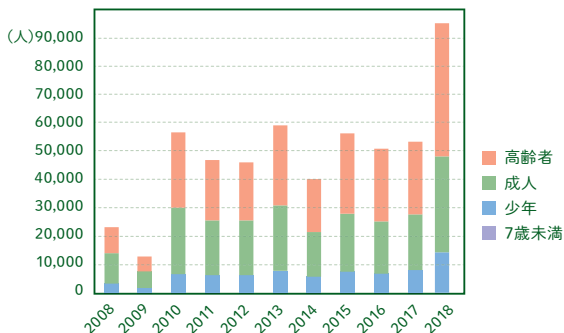
発生件数は増加傾向

自然災害と熱中症

2010年以降5万人前後で推移していた熱中症による救急搬送者数は、2018年は記録的な酷暑により9万人を超えました。高い気温や湿度は熱中症を引き起こす要因となります。日本の夏季（6月から8月）の平均気温は100年で約1.5℃上昇し、2018年、日本の最高気温は41.1℃を記録しました。また近年は、夏季の豪雨や台風などによる大規模な風水害が日本各地で発生。避難

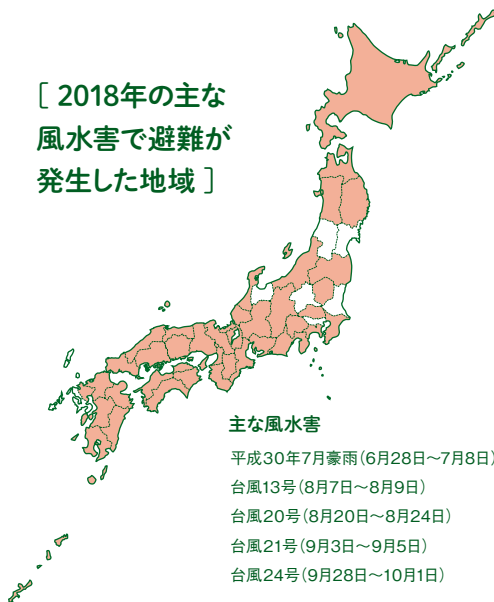
所やボランティアの現場で熱中症を発症するケースも増えています。自然災害が増えている今、災害時の熱中症のリスクについても知っておく必要があります。

[熱中症による救急搬送者数 (5月~9月)]



(総務省消防庁データより作成)2008~2009年は7~9月、2010~2014年は6~9月

[2018年の主な風水害で避難が発生した地域]





／ どんな人も油断は禁物 ／

熱中症の発生要因

年齢や持病の有無など「からだ」の要因に関係なく、炎天下で長時間作業や運動をすれば、どんな人も熱中症を発症するリスクは高まります。気温や湿度などの「環境」、運動の激しさや水分補給の量などの「行動」も、熱中症の発症には大きく関わっているのです。また、避難所のように、水や電気などの供給が制限されるような状況では、室温のコントロールやこまめな水分補給が難しくなるだけでなく、ストレスにより体調が変化するなど、「環境・からだ・行動」のすべての面で熱中症を引き起こす危険性が高くなります。

〔熱中症を引き起こす条件〕

環境	気温が高い／湿度が高い／風が弱い／日差しが強い 閉め切った室内／エアコンがない／急に暑くなった日 熱波の襲来
からだ	高齢者、乳幼児、肥満／からだに障害のある人 持病（糖尿病、心臓病、精神疾患等）／低栄養状態 脱水状態（下痢、インフルエンザ等） 体調不良（二日酔い、寝不足等）
行動	激しい運動／慣れない運動／長時間の屋外作業 水分補給がしにくい



／ 重症化を防ぐために ／

初期対応と自己管理

〔熱中症の初期症状〕



このような症状が出たら、熱中症にかかっている可能性があります

熱中症は重症化すると死に至ることもあります。もし熱中症になってしまったら、早い段階で適切に対処することが大切です。熱中症の疑いがあるときは、速やかに涼しい場所に移動して、保冷剤などで体を冷やすとともに、水分・塩分を補給しましょう。日頃から自分や周囲の人の体調を気にかけておくと、初期症状のサインに早く気づくことができます。また、熱中症予防のための指標「暑さ指数」(WBGT: Wet Bulb Globe Temperature) をチェックして、指数に応じて外出や運動の予定を立てるなど、ふだんから熱中症を予防する行動を心がけましょう。



「環境省熱中症予防情報サイト」
をぜひご利用ください

全国840地点における暑さ指数(WBGT)の実況値・予測値を公開しています

〔環境省熱中症予防情報サイト〕
<http://www.wbgt.env.go.jp/>



医療現場の専門家から見た 災害時の熱中症対策

KEY PERSON



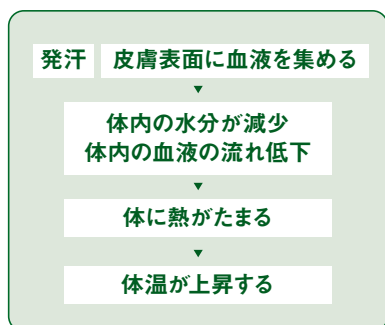
三宅康史さん

帝京大学医学部救急医学講座教授
帝京大学付属病院高度救命救急センター長

私たちの体には、体温を一定に保つための調節機能が備わっています。暑いときは皮膚表面の毛細血管に多くの血液が流れ込み、熱を放出しようとしています。汗をかくのも、水分が蒸発する際の気化熱で体温を下げる働きがあります。しかし、あまりに外気温が高く、皮膚表面に血液が集中して大事な臓器への血流が悪くなったり、大量の汗で体内の水分が減少したりすると、体温調節がうまく機能せずに体温が著しく上昇します。このような状態が熱中症です。その結果、めまいや立ちくらみ、筋肉痛などの症状が起こり、重症化すると死に至ります。

一般的に、体内の水分量が少ない高齢者

☑ 熱中症の起こり方



☑ どのような人がなりやすいか

(からだ・行動)

- ・ 脱水状態にある人
- ・ 過度の衣服を着ている人
- ・ 高齢者、乳幼児
- ・ 普段から運動をしていない人
- ・ からだに障害のある人
- ・ 暑さに慣れていない人
- ・ 肥満の人
- ・ 病気の人、体調の悪い人

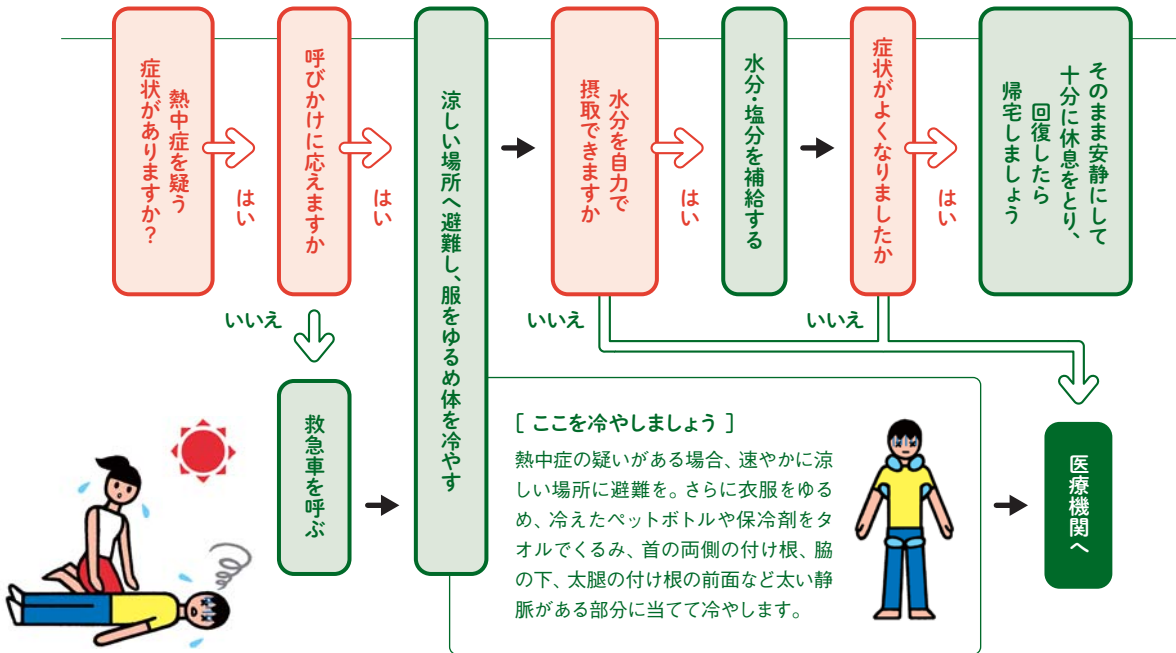
や、体温が高く自力で水分補給のできない乳幼児は熱中症になりやすいといわれていますが、どの年代の人でも熱中症になる危険性があります。特に学生や働き世代でも、暑さなどの環境や体調を考慮せずに、無理をしてしまうことで熱中症にかかる例は多いです。

近年、夏場の豪雨や台風などにより被害を受けた地域で、避難所生活をする中で熱中症になってしまうケースがみられます。慣れない避難所で集団生活を送る被災者は、心的、肉体的ストレスを受け続けることとなりますが、ストレスは熱中症を引き起こすリスクを高める要因となります。避難生活のストレスの原因を取り除くことは個人の努力だけでは難しい面もあります。

私は、個人でできる熱中症の予防で最も大

熱中症の応急処置

— もしも、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら？ —
落ち着いて、状況を確認してから対処しましょう。最初の措置が肝心です。



切なのは「自己管理」だと考えています。日頃から自分の体調がどんな状況にあるのかを把握し、無理をしすぎないこと。これは災害時でも同じです。また、高齢者など自分で体調を管理することが難しい人には、災害時のように平時とは異なる環境では特に、家族や近所に住む人とのお互いの「声かけ」も有効です。

では、自分や周りの人が熱中症になってしまったら、どうすればいいのでしょうか。熱中症の応急処置のポイントは、「FIRE」と覚えてください。立ちくらみなど熱中症の疑いを感じたら、速やかに水分を補給(F:Fluid)します。屋外の場合は冷房が効いた車やコンビニの中などへ移動し、屋内の場合は冷房や扇風機を使って、体を冷やす(I:Icing)ようにしましょう。クラッシュアイスや保冷剤などを、首や脇の下などに体に沿うように当てると効果的です。安静(R:Rest)にして、体調が回復してきた場合は、そのまま様子を

みて構いませんが、症状が改善されないときは医療機関を受診してください。意識障害がある場合など緊急時には、FIREを逆から実行し、最初に救急車を呼んでから(E:Emergency)、応急処置(Rest,Icing,Fluid)を開始します。



KEYNOTE

FIRE

正しい応急処置を身につけ、
熱中症から命を守りましょう。

三宅康史(医学博士)

帝京大学医学部救急医学講座教授。帝京大学付属病院高度救命救急センター長。熱中症に関する委員会前委員長(日本救急医学会)。専門は救急医学。編著に『熱中症～日本を襲う熱波の恐怖～改訂第2版』(へるす出版)など。環境省『熱中症環境保健マニュアル』編集委員。

START!



課題

アレルギーに悩む子どもたちが
安心して過ごせる場を作りたい…

アレルギー専門医との出会いがきっかけに

長野県池田町にある八寿恵荘は、北アルプスと有機栽培のカモミール畑に囲まれた自然豊かな宿。アレルギー専門医との出会いをきっかけに、八寿恵荘を運営するカミツレ研究所の北條裕子社長が「誰でも安心して心地良く過ごせる場所にしたい」と考え、アレルギーの子どもたちの自然体験教室や乳がんサバイバーツアーの受け入れを始めた。

豊かな自然に囲まれた宿・八寿恵荘。もともとは運営会社の親会社が所有する保養施設だった

課題解決ストーリー

エコ★サクセス

エコに取り組み、目標を達成したサクセスストーリーを紹介します

Vol.07

八寿恵荘

日常から離れ、自然の中で心身の健康を取り戻す「オーガニック・ウェルネス・リトリート」をコンセプトに、日本初のビオホテルジャパン認証の「八寿恵荘」は、誰もが元気になれる体験プログラムを提供しています。

PROCESS

日本初のビオホテルジャパン認証を取得

自然体験教室では、野菜の収穫、川遊びなどのプログラムを実施しており、ふだん、外で自由に遊ぶことが難しいアレルギーの子どもたちがのびのび過ごしている。2015年には八寿恵荘をオーガニックにこだわった宿にリニューアル。建材に地元産の無垢材を使い、バスタオルや布団などはオーガニックコットンを採用するなど、健康や環境への配慮を徹底し、日本初のビオホテルジャパンの認証を取得した。



自然体験教室でご飯のかまど炊きに挑戦する子どもたち。何度も参加する子どもも多く、体験企画は毎年工夫している

GOAL!!!

衣食住の
すべてに自然の
恵みを感じられる
環境ができました



カミツレの里で有機栽培したカモミールの収穫体験を楽しむ参加者のみなさん。周囲の豊かな自然とカモミールの香りに囲まれ、ふだんの生活の疲れをリセットできると好評だ

持続可能なライフスタイルを目指して

一般向けに、専門家を講師に招いて健康に関する知識を学べる「ウェルネスカレッジ」もスタート。また、宿を囲む有機 JAS 認定の自社農園で栽培しているカモミールは、同社が手がけるスキンケアシリーズ「華密恋」の原料になるほか、定植や収穫体験にも活用している。こうした取り組みが評価され、2018年に環境省のグッドライフアワード環境大臣賞優秀賞を受賞した。

自然体験教室に参加した子どもや家族からは「八寿恵荘にきたら心身ともに元気になった」と喜ばれ、さまざまな体験プログラムにはリピーターも増えているという。「エコやオーガニックは、持続可能なライフスタイルに欠かせないもの。八寿恵荘でのさまざまな体験が、生活を変えるちょっとした意識の変化につながればうれしいで

すね」と北條社長。心も体もリセットできる時間と空間を提供し、衣食住のすべてに自然の恵みを取り入れる生活スタイルをより多くの人に広げていく。



SUCCESS HINT !

大切なことは 変えずにやり続ける

「カミツレの里」でのカモミールの有機栽培は、まだ「オーガニック」という言葉が知られていなかった1980年代に始まり、栽培方法は今も当時のまま。「大切なことは変えずに継続することが、みなさんに受け入れてもらえるようになる秘訣だと思います」（北條社長）

／ 尼神インター渚がチャレンジ!! ／

エコ、作ってみた!

実は昔、大工を5年やっていたという、尼神インターの渚さん。
渚さんと一緒に、身近な素材でDIYできる「エコグッズ」を作ってみましょう。

写真/石原敦志



お題 古布を使って折りたたみ椅子を作る

MATERIAL

【材料】

- 古布
(デニム生地など
伸縮性のない厚手の布)
- 24mm角の木材…8本
- M8×320mmボルト…1個
- ネジ…12本
- 太鼓鉋…8個



【用意するもの】

ハサミ、アイロン、メジャー、チャコールペン、のこぎり、ヤスリ、ステイン塗料、刷毛、さしがね、電動ドリルとビット、木工用ボンド、タッカー、かなづち

着 なくなったデニムのジャケットや使わなくなったキャンバストートバッグなどを使って折りたたみ椅子を作ります。アウトドアなどに手軽に持ち運んで使えるほか、小物を置くミニシェルフにしてもOK。使わない時は折りたためるので場所もとりません。木の脚を上手に組めるか、布をしっかり張れるかがポイントです。

TEACHER



DIY FACTORY二子玉川店

瀧澤理奈子さん

<https://www.diyfactory.jp/shoplist/futako/>

STEP

1

布を切り出して、
しっかりアイロンをあてる



古布から465mm×640mmの生地をカット。木材に留める640mmの辺の端を二重にして丈夫にしたら、折り目にアイロンをかける。柄やステッチなどを上手にカットしてアクセントに。

STEP

2

木材をサイズに合わせて
カットする



のこぎりを使って木材をカット(476mm×4本、330mm×2本、249mmと193mm×各1本)。ヤスリで断面を平らにしたら、木目を引き立たせるステイン塗料を刷毛で塗っておこう。



計って
長さは
さしが
ねで
しっか
り揃え
よう

STEP 3

木材にボルトを通す穴をあける



電動ドリルを使って、脚となる4本の長い木材の下端から250mmの部分に固定用ボルトを通す穴をあける。まっすぐ穴をあけないとボルトが通らなくなるので気を付けて。



STEP 4

2本の脚の間に横木を留める



ネジを留めるのはちょいムズ。私は上手いけどネ!

まず249mmと193mmの横木をそれぞれ脚の間に下端から70mmの位置に木工用ボンドで仮留めしたら、電動ドリルを使って外側からネジ留め。さらに布を張る横木を脚の上部にも同様にネジ留めする。



STEP 5

上部の横木に布を張りつつ、脚を組む



タッカーを使って片方の横木に、端を折って二重にした布を留める。その後、先ほど穴をあけた部分が一直線上になるように脚を組み合わせ、そこにボルトを通して固定。



ボルトが通らないときは少し穴を広げてみて



STEP 6

布を張って太鼓鉾を打ったら、完成!



好みの高さになるように脚組みを調整したら、反対側の横木にもタッカーで同様に布を留める。布のハリを安定させるためと補強もかねて、大きな飾り用の太鼓鉾を両方に打ったら完成。



アイロンとか
苦手やったけど、いるんな
作業があって楽しかったわ

命名 | 座ってみるもよし。インテリアにもよし。

「椅子心地」のいい万能スツール

PROFILE 尼神インター 渚さん

1984年生まれ。2007年に相方の誠子と、お笑いコンビ「尼神インター」を結成。芸人になる前は地元で大工をしていた。

ECO KNOWLEDGE

知ると、得する賢くなる!

エコナレッジ

「エコぐま」と「ハカセくん」とエコなキーワードを楽しく学んでみよう!
イラスト/ナカオテッペイ



エコぐま

天真爛漫で好奇心旺盛なクマ。好物はアボカドとせんべい。



ハカセくん

知識が豊富で大人びている小学生。エコぐまのお世話係。



DO YOU KNOW?

グリーン購入法って?

環境に配慮したモノやサービスの購入を国などに義務付けた法律

グリーン購入とは、購入する前に必要性をよく考え、品質や価格だけでなく環境も考慮し、環境への負担ができるだけ少ないものを、環境負荷の低減に努めている事業者から優先して購入することです。グリーン購入法は、環境負荷が少ない製品やサービスの購入を国などに義務付けた法律で、自治体や事業者、国民にも、それぞれの立場でグリーン購入に努めることを求めています。環境面の効果だけでなく、環境配慮型製品の市場拡大、環境意識の向上など、経済面や社会面にも効果が期待できます。

グリーン購入法 | で検索 🔍

具体的な製品情報をチェックしよう!

エコ商品ねっと

製品、サービスの環境情報を提供する日本最大級のデータベース
<https://www.gpn.jp/econet/>

エコマーク商品検索

グリーン購入法の特定調達品目からエコマーク商品を検索できる
<https://www.ecomark.jp/search/search.php>

省エネ型製品情報サイト

家電製品などの省エネ性能をまとめて比較できるデータベース
<https://seihinjyoho.go.jp/>

今号の『エコジン』はいかがでしたか。今後の誌面づくりの参考にさせていただきますので、アンケートにご協力ください。

エコジン・アンケート ⇨ <https://ecojin.env.go.jp/eco/>

バックナンバーは、国立国会図書館HPでもご覧いただけます。
→ <http://www.ndl.go.jp>